

カーボンニュートラルに向けた地下水適正熱利用勉強会 ～用水2法の規制緩和の可能性～

令和8年3月6日、特定非営利活動法人 地中熱利用促進協会にご共催をいただいて標記勉強会を開催し、現地及びオンラインで108名参加頂きました。

開会に先立ち当協会 若林直樹副会長が挨拶をしました。

続いて、大阪市環境局環境施策部エネルギー政策担当課長 大谷直人様より、『大阪市の帯水層蓄熱の普及促進に向けた取組』という題目で講演をして頂きました。こちらは大阪市がビル用水法の指定地域（うめきた2期地区）において、全国初の帯水層蓄熱システム導入が実現した実証事業について説明を頂きました。

その後、環境省 水・大気環境局 環境管理課 環境汚染対策室 室長補佐 松井達様より『地下水採取規制の合理化に向けた検討状況』という題目で講演をして頂きました。こちらはビル用水法規制合理化に向けて環境省が検討している内容について説明を頂きました。

講演後の質疑応答でも、参加の皆様から今後の課題など積極的な質問があり、協会としても環境省が今後作成していくガイドライン策定に向けて関与をさせて欲しい旨を伝えました。ビル用水法規制緩和はさく井業全体にとって明るい動きが生じてきたと考えています。今後も当協会としまして、関係各所に陳情活動を継続し、規制緩和およびさく井業界の活性化に向けて取り組んでまいります。

会員の皆様におきましても、引き続きご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



勉強会講演状況

